

龍ヶ崎市合同防災訓練が行われました

平成 28 年 6 月 5 日(日) 8 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0 まで小貝川の氾濫注意水位から氾濫危険水位到着予測に基づく、水防関係団体の基礎的水防、「避難準備情報」から「避難勧告」発令に伴う住民の指定避難所までの避難行動演習が本校を会場として行われました。

この訓練は、龍ヶ崎市災害対策本部・龍ヶ崎市消防団・稲敷広域消防本部・水防連絡協議会・竜ヶ崎警察署と竜ヶ崎南高等学校が協力したもので、龍ヶ崎市長をはじめ龍ヶ崎市教育長の臨席のなか、本校近隣住民の約 300 名の方、近隣の北文間小学校の児童 58 名も一緒に参加しました。

体育館では、避難訓練概要説明後、降雨体験・自然災害体験・土嚢作り・水防工法・救助ボート等の体験コーナーが設けられ、それぞれのブースで積極的に参加していました。

後半には、茨城県警航空隊の「ひばり」による避難者捜索活動のための低空飛行の見学もありました。また、避難所での体験喫食もあり、本校合宿所にて炊き出しが行われました。本校ボランティア生徒も配給の手伝いに参加し、地域との交流を深めました。その後、小学生は、気象予報士による気象学の授業や小貝川の歴史について勉強しました。

写真 1 : 土嚢作り・水防工法体験





写真 2 : 1 時間に 300 ミリの豪雨体験ができる降雨体験車



写真 3 : 避難所での体験喫食（お湯を注ぐだけで食べられる非常食試食）

平成28年度龍ヶ崎市合同防災訓練(水防訓練)



稲敷広域消防本部・龍ヶ崎市消防団の方々



茨城県警航空隊「ひばり」による低空飛行



1時間のうちに300ミリの雨を降らせる体験車に挑戦



雨カッパの必要性を感じた豪雨体験



非常食炊き出し用のお湯を沸かした大釜



立体映像(3D)や振動・におい・熱風などで自然災害を体験



合宿所で非常食の試食をした北文間小学校の皆さん



気象台講師による気象学や小貝川の歴史を学んだ授業

平成28年度龍ヶ崎市合同防災訓練(水防訓練)



自衛隊員が見守る中での救助ボート体験



稲敷消防の救助ボート



北文間小学校の児童が体験



一度に6人の児童が避難体験



小貝川の歴史パネルと避難民用のテント



自宅から避難した約300名の地域住民の方々



水防訓練を支えてくれた消防団の方々